



(第44回武蔵村山市民駅伝競走大会にて)



独立行政法人 国立病院機構

村山医療センターニュース

理念

患者さんの視点に立ち、良質で高度な医療を提供します。

基本方針

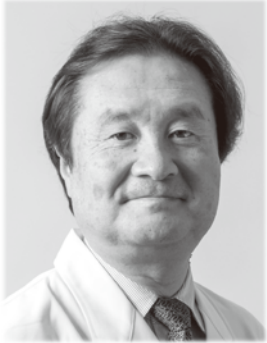
患者さんの権利と意思を尊重します。
安全で優しいチーム医療を提供します。
倫理を重んじ高度で先進的な医療を提供します。
地域医療連携の促進を図ります。
骨・運動器疾患の臨床研究を推進します。
職員は研鑽に励み、健全な経営に努めます。

第56号
2017.1

発行責任者 院長 朝妻 孝仁

新年の挨拶

村山医療センター
院長 朝妻 孝仁



新年明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、つつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、去年は当院にとっていくつかの出来事がありました。第1に懸案であった新病棟の計画が進み、基本設計から実施設計が終わり、入札までこぎ着けたことです。限られた予算の中で、患者の皆様、とくに障がいのある方に優しい機能的な病棟の設計が行われたと自負しています。昨年11月の第1回目の入札では残念ながら落札には到りませんでしたが、今年は早期に落札を実現し、着工に進みたいと思います。現段階の予定では平成30年9月頃の完成予定です。また、新病棟建設に引き続き、老朽化した外来棟、管理棟、サービス棟の建替え計画も進めていきたいと考えています。

第2に昨年3月に電子カルテが導入されたことです。従来の紙カルテに比べて、業務の効率化が可能となり、患者サービスの向上、職員の業務軽減に繋がったと思います。ただ、導入当初、慣れないための混乱があったことや、2回の大規模なシステムダウンがあり、皆様にはご迷惑をおかけしたことをこの場を借りてお詫びします。

第3に一般・消化器外科の診療が再開されたことです。瀬川前副院長が定年退職した平成27年4月以降、一般・消化器外科の診療を休診していましたが、平成28年1月に東京女子医大八千代医療センターの大石英人先生が非常勤として診療を開始し、同年4月に飯野高之先生が外科医長として着任し、さらに大石先生が同年9月から外科部長として着任しました。腹腔鏡を用いた低侵襲外科手術を専門としており、常勤医師2名で当院の外科診療体制が整いました。また、大石外科部長は新しい方法である経皮的胃瘻造設術であるPTEGという方法を開発し、その分野の第一人者です。在宅の患者さんの栄養管理等にもお役に立てるかと思っています。

昨年も従来通り、当院主催の“看護の日のイベント”を5月に“市民公開講座”を12月に行い、多くの皆様のご参加をいただきました。特に、市民公開講座は会場の椅子が足りなくなるほど多くの市民の皆様にご参加頂きました。本年も予定していますので、是非お出かけいただきますようお願い申し上げます。

本年も職員一同、地域に根付いた医療を目指して頑張っまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

着任医師ご挨拶

整形外科医師 矢内 嘉英



平成29年1月1日付で村山医療センター整形外科に勤務させていただくことになりました。私は、平成21年に防衛医科大学を卒業、2年の研修医を終えた後、整形外科医としては防衛医科大学病院を中心に所沢明生病院、災害医療センター、立川病院で研鑽を積んでまいりました。大学病院では朝妻院長、谷戸統括診療部長、吉原臨床研究部長には大変お世話になり、整形外科医としての基礎を教わりました。診療、技術的な面では、まだまだ他の先生方には及ばない部分が多々あるとは思いますが、一人一人の患者さんに常にベストな治療を提供できるよう努力していきたいと思います。早く皆さんの力になれるよう頑張りますので、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

患者さんの権利と責任

1. 個人の人格は尊重され、安全で良質な医療を受ける権利があります。
2. 自分の受ける医療について、十分な説明を受けた上で自分の意思で医療の選択をする権利があります。
3. 自分の受ける医療に対し、不明な点は質問することができ、診療情報の提供を受けたり、開示を求める権利があります。
4. 個人の情報を直接医療に関わる医療従事者以外の第三者に開示されない権利があります。
5. 自分の受ける医療について、別の病院を受診したり転院することができます。その際、十分な診療情報の提供を受ける権利があります。
6. 自分の健康に関する情報を正しく提供し、また他の患者の診療に支障をあたえず、医療従事者と協働して医療に参加する責任があります。

臨床倫理指針

1. 患者さんの人格、信仰、意思等を尊重し、説明と同意に基づく患者さんの自己決定を優先します。
2. 患者さんのプライバシーを尊重し、守秘義務の遵守と個人情報保護を徹底します。
3. 患者さんの尊厳及び人権に関わる医療については、臨床倫理委員会で審議を行い、方針を決定します。
4. 関係法規、ガイドラインを遵守し、検査・診断・治療・研究を行います。
5. 医療の発展のために積極的に臨床研究を行い、その実施においては倫理審査委員会において十分検討を行います。

「市民公開講座」を開催しました。

管 理 課 長

村山医療センターでは、主に武蔵村山市民の方々を対象とした『市民公開講座』を定期的に開催しています。

今回で19回目の開催となり、武蔵村山市並びに武蔵村山市医師会の後援で、12月10日（土）に武蔵村山市民総合センターをお借りして『この手のしびれ大丈夫?』という演題で実施しましたが、70名定員の会場に90名を超える市民の方が参加され、場内は熱気ムンムンとした状況でした。

朝妻院長による開会の挨拶の後、小見山整形外科医長から『手根管症候群』とのテーマで、手のしびれの代表的な症状である手根管症候群について、症状や起こりやすい人（更年期以降の女性や手首の骨折経験者など）、検査や治療方法について説明しました。治療については、安静+装具による固定、内服薬や注射によるもので行う治療のほか、それでも治らない場合には、手術による治療になるそうですが、手術そのものは数十分程度で終了し、次の日から手も使えるようです。

次に小林作業療法士長から『指先からの老化防止』とのテーマで講演を行い、関節障害・末梢神経障害にスポットを当てて講演しました。実際現場で行っている効果的なマッサージのやり方について、モデルを使用して分かり易く説明しました。また、市民の方に直接マッサージする場面もあり、マッサージを受けた方は気持ち良さそうでした。

次にリハビリテーション科の倉片医師から『脳からくる手のしびれ』とのテーマで講演を行い、脳に原因があるしびれについて、特に脳卒中について詳しく説明しました。説明の中で、しびれの原因を診断するのに大事な事は、症状の経過・状態（病歴）が非常に重要であり、なんと病歴90%、診察5%、検査5%と言われる程だそうです。そのため、診察時には診察や検査だけでなく、症状の経過・状態（病歴）をできるだけ詳しく伝える事も大事なんだと感じました。また、脳卒中を疑うべき症状は突然起こるそうです。そんな時、救急車を呼んだほうが良いか、また今すぐ病院に行ったほうがいいのか等迷った事はありませんか？そんな時には、相談窓口として東京消防庁救急相談センター「#7119、ダイヤル回線は042-521-2323（多摩地区）」に相談してみてください。24時間365日対応しています。

最後に竹光外来診療部長（整形外科）から『首からくる手のしびれ』と題して、しびれを起こす仕組みや症状、治療方法を説明しました。この中で特に椎間板ヘルニアの手術の方法について、脊髄、神経根の圧迫を除圧する方法と首の不安定性を固定（矯正）する方法について説明しました。

講演終了後には、休憩時間をはさみ健康相談を開催しました。健康相談には、朝妻院長をはじめ竹光外来診療部長、小見山整形外科医長、倉片リハビリテーション科医師、小林作業療法士長の5人が相談員となり、多くの市民の方の悩みや質問をお聞きするとともに専門職としてアドバイスをさせていただきました。

今後も武蔵村山市民の健康に役立つ公開講座を開催して参りますので、是非とも興味を持っていただき参加していただきたいと切に願っております。

最後に今回の公開講座に協力いただきました職員の皆さん、ポスター掲示など協力いただいた関係者の方々、武蔵村山市並びに武蔵村山市医師会にこの場をお借りして感謝申し上げます。ありがとうございました。



講演風景



朝妻院長による開会挨拶



小見山医長による講演



竹光外来診療部長による講演



倉片医師による健康相談



小林士長による健康相談



心温まるキャンドルサービスでした



副看護師長 有田絵里子

国立病院機構災害医療センター附属昭和の森看護学校の看護学生さんによるキャンドルサービスが12月19日に行われました。サンタクロースの衣装を纏った演出でスタート。各病棟の明かりを落とし、ペン型のキャンドルが揺れる中クリスマスソングのハーモニーが響き、患者さん一人一人のベッドサイドを回り手作りのクリスマスカードを手渡していただきました。その後、病棟の食堂などでハンドベルで2曲の演奏とクリスマスソングを3曲を歌ってくれた後、アンコールにも応えてくれました。お世話になった学生さんに再会したいと待ちわびていた患者さんや入院中でも季節感を楽しみたい患者さんが集まり、学生さんも患者さんも笑顔で楽しい時間を過ごしました。

残念ながら昭和の森看護学校によるキャンドルサービスは今年で最後となります。実習の合間にクリスマスカードの作成に励んだり、キャンドルサービス直前まで熱心に発声練習やリズムを合わせたりと患者さんに感謝をこめた準備をしてくださいました。これまで毎年開催していただいたことに病院職員一同感謝の気持ちでいっぱいです。



病棟の食堂でクリスマスソングの披露



心を込めてクリスマスカードをお渡します



昭和の森看護学校のみなさん

メリークリスマス!



「聖歌隊の歌う賛美歌に癒された、クリスマスコンサート」

看護師長 山田 朗加

平成28年12月10日、土曜日の午後、毎年恒例、ルーテル学院大学聖歌隊によるクリスマスコンサートが行われました。普段はリハビリ患者さんで活気あふれる理学療法室ですが、この日は聖歌隊ホールに模様替えし、車椅子やストレッチャーの患者さんも含めて80名余りの方々が集まりました。そして聖歌や賛美歌を中心としたプログラムで、聖歌隊員による歌声を披露して頂きました。コンサートが始まるとホールには清らかな歌声が響き、みんなそれぞれの思いを胸に真剣に聞き入っていました。

コンサートに参加したある方は、「讃美歌を聴くうちに、歌声の中に神様の存在を感じ涙が出ました。」「入院することで気付くことができた、人の“愛”“優しさ”“温かさ”を“神様の存在”として感じたのだと思います。」とおっしゃっていました。

患者さんが入院している理由は様々ですが、それぞれの患者さんの心に響き、治療やリハビリだけではない“癒し”を感じて頂けたのであれば、大変嬉しく思います。

ルーテル学院大学聖歌隊の皆さんありがとうございました。



理学療法室がコンサート会場に



80人以上の患者さんが来場されました



ルーテル学院大学聖歌隊のみなさん

武蔵村山市民駅伝競走大会に参加しました!

12月11日に開催された第44回武蔵村山市民駅伝競走大会に、村山医療センターから一般の部には2チーム、女子の部には1チームが出場しました。医師・看護師・薬剤師・理学療法士・作業療法士・臨床検査技師など他職種が集まり1チーム6人と補欠でチームをつくりました。

たくさんの職員の皆さんが沿道から声援を送ったり、写真を撮ったり、盛り上げてくださりありがとうございました。

皆さんの応援のおかげで、女子の部では第2位、一般の部では第4位と第10位という成績を残すことができました。また、女子チームからは第5区の猪俣侑希さん（薬剤師）が区間賞、第6区の宇内景先生（リハビリテーション科医師）が区間新記録を獲得しました。

出場した職員は「久しぶりに走って楽しかった。」「朝から運動して気持ちよかった。」と話をしていました。また、応援をしていた職員も含め、チーム一丸となって楽しむことができる一日でした。

来年も出場予定です。選手募集中です。また来年も応援よろしくお願ひします



朝妻院長も出走しました



区間新記録を獲得しました



良い天気の下での力走です



タスキを繋ぎます



朝からの運動が楽しそうです

平成28年度 骨・運動器疾患看護研修会を開催しました

教育担当看護師長 杉山学子

骨・運動器疾患看護研修会を10月5、6、7日の3日間にわたり、実施いたしました。

この研修会は平成25年より毎年実施しています。看護師を対象とした研修会で、脊椎や関節の疾患の理解、手術に関する知識、看護、リハビリ、地域連携など骨・運動器に関する基礎から最新の情報を取り交ぜた研修内容で構成されています。毎年、全国から30名程度の研修生を募っていましたが、今年度は病院の建て替え等の諸事情により19名を対象とした研修会となりました。医師、看護師、理学療法士、作業療法士、医療社会事業専門員など様々な職種の講師による講義のほか、手術室の見学、車椅子での座圧測定や脊椎や頸部の固定に使用するコルセットの装着など様々な体験も行いました。「患者さんの状況や気持ちを理解して看護に活かせる。」「多職種から学ぶことで看護だけではない視点を得られた。」「最新の知識や術式を学べた。」などの感想があり、充実した研修となったようでした。

高齢社会となっている現在、治療の必要の有無に関わらず、骨・運動器に関して何らかの不都合を感じている方が多いと思われれます。患者さんとなった方たちが、治療した後も安心して地域で生活ができるように支援できる看護師の育成にこれからも取り組んでまいります。



外 来 診 療 担 当 医 師

■ 一般外来 ※受付時間 (初診:8時30分～11時まで)
再診:8時30分～12時まで 平成29年1月1日現在

診療科等		月	火	水	木	金	備考
内科		片寄	岡田	片寄	岡田	岡田	
外科		飯野	飯野		飯野	大石	
整形外科	再診	脊椎 ○朝妻 ○竹光	◎谷戸 ◎藤吉 加藤	○○金子 山根	◎安田	小見山 大 祢 矢 内	◎脊髄損傷 ○側弯 脊椎・脊髄 (頸椎・胸椎・腰椎)
		関節	梅津	窪田	吉原	笹崎	股・膝関節・下肢
		一般		鎌田		中川	
	初診	交替制					
リハビリテーション科		宇内	植村	鈴木		交替制(※) (第4・5金は休診)	※第1金…鈴木 第2金…植村 第3金…宇内
歯科		宮本	宮本	宮本	宮本	宮本	予約制

■ 専門外来 (全て予約のみ) ※受付時間 13時～

診療科等	月	火	水	木	金	備考
内科リウマチ				片寄 (13:00～)		予約制
側弯			金子 (13:30-15時)	金子 (第2-4週13:30-16時)		予約制
装具外来 (リハビリ科)	植村/倉片/鈴木 (13:30～)					予約制
禁煙外来		岡田 (午前11:30～)		岡田 (午前11:30～)	岡田 (午前11:30～)	予約制

※循環器科、泌尿器科、皮膚科、精神科については、一般外来を行っておりません。

診療について

診療日 月曜日～金曜日(祝日及び年末年始は除く)
診療受付時間 初診の方 午前8時30分～午前11時00分
再診の方 午前8時30分～午前12時00分

※急患は(整形外科)随時受付けております。
専門外来については医事窓口にてお問合せ下さい。
毎月初めに保険証の提示をお願いします。変更のあった場合はお知らせ下さい。

独立行政法人国立病院機構 村山医療センター
〒208-0011 東京都武蔵村山市学園2-37-1
TEL 042-561-1221(代) FAX 042-564-2210
URL : <http://www.murayama-hosp.jp/>